赤外線通信	. 14-2
赤外線通信について	14-2
赤外線通信を利用する	14-3
電話番号などを簡単に送受信する.	14-5
Bluetooth <sup>®</sup>	. 14-6
Bluetooth <sup>®</sup> について	14-6
Bluetooth <sup>®</sup> を利用する	14-7

パソコン接続	14-10
パソコンと接続して利用する	14-10
応用操作	14-11
こんなときは	14-14



外部機器接続



# 赤外線通信について

赤外線通信を利用すれば、赤外線通信 対応機器との間で、データを無線でや りとりすることができます。



- ●その他保存されている写真や音楽など も送受信できます。
- コピー/転送不可ファイルは送受信で きません。
- データの内容によっては、送受信できないことがあります。また、一部の設定が反映されなかったり、正しく登録できないことがあります。
   詳しくは、章末の「こんなときは」を参照してください。

#### 赤外線通信をご利用になる前に

#### 赤外線通信利用時のご注意

受信側、送信側の機器を近づけ、双方 の赤外線ポートがまっすぐに向き合う ようにします。

●ソフトウェア更新中は接続要求を受け 付けられません。



- ●間に物を置かないでください。
- ●送受信が終わるまでは、赤外線ポート を向き合わせたまま動かさないでくだ さい。
- ●赤外線通信を行うときは、赤外線ポートに目を向けないでください。目に影響を与えることがあります。

●本機の赤外線通信は、IrMCバージョン 1.1に準拠しています。ただし、相手 機器がIrMCバージョン1.1に準拠して いても、機能によっては、正しく送受 信できないことがあります。

#### データの送受信方法

1 件データ	データを1件ずつ送受信し
送受信	ます。

-括データ	機能ごとのデータを一括で
送受信	送受信します。

- データの種類によっては、利用できな い方法もあります。
- ●メモリカード内のデータは、1件データ 送受信だけ行えます。

#### 認証コードについて

 一括データ送受信時に、正しい通信 相手かどうかをお互いに確認するための暗証番号です。送信側/受信側で同じ数字(4ケタ)を入力します。 (特に決まった数字はなく、その通信 限りのものです。)



外部機器接続



外部機器接続14







**ि**रा 14-4

### 電話番号などを簡単に送受信する

赤外線通信を利用して、名前や電話番 号、メールアドレスなどを簡単にやり とりできます。

●あらかじめ「赤外線通信利用時のご注 意」(ビアP.14-2)をお読みになったう えで、ご利用ください。







# Bluetooth®について

Bluetooth<sup>®</sup>対応の腕時計やハンズフ リー機器などと接続したり、Bluetooth<sup>®</sup> 機器との間で、データの送受信ができ ます。

- 送受信できるデータは、赤外線通信と 同様です。
- ●同時に最大2つの機器と接続できます。 (機器の種類によっては、同時に接続で きないこともあります。)
- 本機は、すべてのBluetooth<sup>®</sup>機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 相手側の機器はBluetooth SIGの定めるBluetooth<sup>®</sup>標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 相手側の機器がBluetooth<sup>®</sup>標準規格 に適合していても、データを正しく 送受信できないことがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話のとき、状況によっては雑音が入ることがあります。
- ●著作権保護規格「SCMS-T」非対応の Bluetooth<sup>®</sup>機器では、テレビの音声 を聴けません。

#### Bluetooth<sup>®</sup>をご利用になる前に

#### Bluetooth<sup>®</sup>利用時のご注意

お使いのBluetooth<sup>®</sup>機器の通信距離 をご確認のうえ、適切な距離でご利用 ください。

●本機どうしでの通信距離は、最大10m です。(ただし状況によって通信速度/ 通信距離は異なります。)

#### ハンズフリー機器利用時のご注意

●音声通話中はハンズフリー機器側で、 操作してください。

#### Bluetooth<sup>®</sup>対応腕時計について

- ・本機が対応しているBluetooth<sup>®</sup>対 応腕時計の機能は、次のとおりです。
- ■時刻合わせ ■アラーム通知
- ■メール通知 ■リモートシャッター
- ■マナーモード設定
- ■クイックサイレント(消音)
- ■発信者名通知 ■応答保留
- ■オペレータ名表示
- ●利用できる機能や操作の詳細につい ては、Bluetooth<sup>®</sup>対応腕時計の取扱 説明書を参照してください。



#### 認証コードについて

- ●相手機器がBluetooth<sup>®</sup>標準規格Ver. 2.1に対応していないときは、認証 コードが必要です。認証コードは、 Bluetooth<sup>®</sup>専用のコードで、機器登 録時に送信側/受信側とも同じ4~ 16ケタの数字を入力する必要があり ます。
- ■相手がハンズフリー機器などのとき は、ハンズフリー機器で決められて いる認証コードを入力します。



外部機器接続



ઈ

外部機器接続



#### データを送受信する

登録済み機器との通信を例に説明します。

- 送受信できるデータは、赤外線通信と
   同様です。
- 認証コードが要求されたときは、認証 コードを入力してください。







外部機器接続



### パソコン接続

# パソコンと接続して利用する

#### 本機内のメモリカードを操作する

本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、本機に取り付けられたメモリカード内のデータを操作します。 ●USBケーブルはオプション品です。



# **「カードリーダモード」**● 「パソコンからメモリカード内の

データが操作できるようになります。

#### 

●このあと、USBケーブルを抜きます。

- ●の画面が表示されないとき
   ◆次の操作を行います。
   ◎K ◆「便利な機能」 ◆ ○K ◆「データのやりとりをする」 ◆ ○K ◆「USB ケーブルでパソコンと接続する」 ◆
   ○K ◆「パソコンからメモリカードを操作する」 ◆ ○K ◆ メモリカード内のデータを操作 ◆ €
- パソコンでの操作が必要なこともあります。パソコンの指示に従って操作してください。

#### ユーティリティーソフトウェアを利用する

パソコンと接続して利用するときに便 利なユーティリティーソフトウェア を、下記URLからダウンロードできま す。(USBドライバ含む) ●ユーティリティーソフトウェア

http://k-tai.sharp.co.ip/support/

モバイルデータ通信のパケット通信料についてのご注意

 本機とパソコン、PDAをUSBケーブ ルで接続して、インターネットを利 用するときは、短時間で大量のパケッ ト通信が行われることが多く、通信 料が高額になる可能性があります。



外部機器接続

14

Æ

Bluetooth <sup>®</sup> ■Bluetooth <sup>®</sup> 全 本機を非公開にし て検索されないよ	● ● M ● M M M M M M M M M M M M M	常にハンズフリー 機器で通話したい	<ul> <li>○K ●「便利な機能」●区 ●「データのやりとりをする」●○K ●「Bluetoothを利用する」●○K ●「このケータイの情報を設定する」●○K ●「常にハンズフリー通話」●○K ●「On」●○K</li> </ul>
ラビレだい 未使用時に自動で Bluetooth <sup>®</sup> 機能	用する」 ②E 設定する」 ③E 「デバイスの公開」 ③E 「「何f」 ③E 「デバイスの公開」 ③E 「デバイスの公開」 ③E 「デバイスの公開」 ③E 「デバイスの公開」 ③E 「デバイスの公開」 ③E ③E 「デバイスの公開」 ③E ③E ③E ③E ③E ③E ③E ③E ③E ③E	待受画面などでの Bluetooth <sup>®</sup> 対応 S!アプリの接続要 求を無視したい	<ul> <li>○K 「便利な機能」●CK 「データのやりとりをする」●CK 「Bluetoothを利用する」●CK 「このケータイの情報を設定する」●CK 「S!アプリ通信設定」● OK 「Off」●CK</li> </ul>
をOffic したい ワイヤレス出力対応機器で言声や音	用する」 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、	接続中に他の機器 からの接続要求を 受けたい	<ul> <li>○K 「便利な機能」</li> <li>○K 「Fluetoothを利 りとりをする」</li> <li>○K 「Bluetoothを利 用する」</li> <li>○K 「このケータイの情報を 設定する」</li> <li>○K 「複数接続待受け」</li> <li>○K 「On」</li> </ul>
楽を聴きたい	<ul> <li>用する」 ● ○K ● 「このケータイの情報を 設定する」 ● ○K ● 「音の出力先選択」 ●</li> <li>○K ● 「Bluetooth」 ● ○K</li> <li>● ワイヤレスイヤホンに接続したときは、自動 的に「Bluetooth」に切り替わります。</li> </ul>	本機の詳細情報を 確認したい	<ul> <li>○K 「便利な機能」</li> <li>○K 「Fluetoothを利</li> <li>りとりをする」</li> <li>○K 「Bluetoothを利</li> <li>用する」</li> <li>○K 「このケータイの情報を</li> <li>確認する」</li> <li>○K</li> <li>● このあと (空)を押すと、対応サービスの説明</li> </ul>
相手機器に表示される本機の名称を変更したい	<ul> <li>○K</li> <li>「便利な機能」</li> <li>○K</li> <li>「Bluetoothを利</li> <li>りとりをする」</li> <li>○K</li> <li>「Bluetoothを利</li> <li>用する」</li> <li>○K</li> <li>「ごのケータイの情報を</li> <li>設定する」</li> <li>○K</li> <li>「デバイス名称」</li> <li>○K</li> <li>機器名入力</li> <li>○K</li> </ul>		が表示されます。



#### 応用操作

#### ■Bluetooth<sup>®</sup>対応腕時計

Dlugtage		彩色:文7.燃空大炉	
Bluelooth <sup>®</sup> 刘心		豆球消の成品で編	
腕時計の時刻を本	りとりをする」→○≤」→「Bluetoothを利	果したい	データのやりとりをする」 🌩 🔍 🌩
機に合わせたい	用する」→◎KI→「Bluetooth対応腕時計		「Bluetoothを利用する」◆○K◆「登録
	連携設定」⇒◎к⇒「時刻合わせ」⇒◎к⇒		済のデバイスと接続する」▶○⋉▶機器選
			択◆☞書◆下記の操作
	<ul> <li>あらかじめBluetooth<sup>®</sup>対応腕時計を登録し、</li> </ul>		デバイス名を変更する
	本機と接続しておいてください。		「デバイス名称変更」 ● ◎ ペー 機器名入力
Bluetooth <sup>®</sup> 対応	◎к⇒「便利な機能」⇒◎к⇒「データのや		▶OK
腕時計で通知する	りとりをする」→○K→「Bluetoothを利		※ 母次ン爆撃た削砕する
項目を設定したい	用する」		
			●接続中の機器を削除するとさは、このめと
			「はい」を選びした」を押します。
		接続中のハンズフ	◎≤⇒「便利な機能」⇒◎≤⇒「データのや
	●あらかじめBluetooth <sup>®</sup> 対心腕時計を登録し	リー機器などとの	りとりをする」 🔶 🐼 🔶 「Bluetoothを利
	ておいてください。	接続を切断したい	田する」●□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
Bluetooth <sup>®</sup> 対応	◎к⇒「便利な機能」⇒◎к⇒「データのや		続する ↓ ● ○ ド ● を 続 中 の 機 器 選 択 ● ○ ド ● を 続 中 の 機 器 選 択 ● ○ ド
腕時計でリモート	りとりをする」 🍬 🔍 🔶 「Bluetoothを利	ハンブフローノナ	
撮影しない	用する」	ハノスノリー/ オー	
	連携設定 ● ◎ ドートシャッター	ティオ両方対応の	リとりをする」
		機器を個別に接続	用する」 ▶ ○叱 ▶ 「登録済のデバイスと接
		したい	続する」 → ○K → 機器選択 → ☞書 → 「接続
	▼DIUELUUUIIで対応時間を豆球しているとさ		サービスの選択」 → ○≤ → 「ハンズフリー
	に政止できまり。		機能」/「オーディオ機能」⇒◎к」

■登録済み機器









### こんなときは



